

**2025 年度新入生合同研修  
活動報告書**



**新入生合同研修委員会**

# 目次

1. ごあいさつ .....	2
2. 2025 年度新入生合同研修のテーマ及び目的について .....	3
3. 開催概要 .....	3
4. 研修当日スケジュール .....	4
5. 座席配置図 .....	5
(1) グランキューブ大阪 3 階 イベントホール 座席配置図 .....	5
(2) 3 階イベントホール 当日風景 .....	6
6. 開会式 (学長からのメッセージ) .....	7
7. 卒業生・在学生からのメッセージ .....	7
8. チーム別討議 .....	8
(1) チーム討議① .....	8
(2) チーム討議① 当日風景 .....	9
(3) チーム討議② .....	10
(4) チーム討議② 当日風景 .....	10
(5) チーム討議での新入生の様子について .....	11
9. 学生によるポスター掲示、成果物への投票について .....	11
(1) グループへの割り振りについて .....	11
(2) ポスターの掲示について .....	12
(3) 投票について .....	12
(4) 投票 当日風景 .....	13
10. 講演・実技 .....	14
11. 成果発表会 .....	18
(1) 成果発表会 .....	18
(2) 各グループで最も投票数が多かったチームの成果物 .....	18
12. 新入生合同研修委員会の活動について .....	20
(1) 準備・実施スケジュール .....	20
(2) 新入生合同研修委員会 開催状況 .....	21
新入生合同研修委員会 委員一覧 .....	22
13. 新入生アンケート結果(選択：回答数 503) .....	23
14. 教員アンケート結果 .....	40

## 1. ごあいさつ

大阪医科大学と大阪薬科大学は、2016年に法人合併、2021年に両大学が大学統合し、1年生から6年生まで段階的に実施される専門職連携教育〔IPE：Interprofessional Education〕が整備され、信頼関係を築くための高度な知識と技術を修得します。

専門職連携教育のスタートとなる3学部の新入生を対象とした新入生合同研修を、「良き医療人をめざして踏み出す第一歩のために」をテーマとして、2025年4月11日にグランキューブ大阪（大阪府立国際会議場）にて開催しました。

対面での開催は今回で3回目となり、2025年度は新入生約500人と教職員約50人が参加しました。

企画および運営は、3学部の教職員で構成する新入生合同研修委員会が中心となり、2024年10月から新入生合同研修委員会を毎月開催し、準備を進めました。

研修内容としては、学長からのメッセージを皮切りに、卒業生・在学生からの動画メッセージを視聴しました。2024年度に引き続き大阪ライフサポート協会による心肺蘇生の講義の後、実技を行い、2人1組で胸骨圧迫とAEDの使い方を学習しました。チーム別討論では、ポスター作成を行い、各チームが作成したポスターを掲示し、学生が投票を行いました。投票上位4チームは、成果発表会で登壇し、発表を行いました。今回はチーム別討論の時間配分を増やし、より実践型のプログラムになりました。

学生アンケートにおいても、チーム別討論や実技などを通じたコミュニケーションにより他学部生との交流が深まったとの声を聞くことができました。

本研修の開催並びに運営にご協力頂きました学長、各学部長を始め、チューター教員の先生方、職員の皆様には深く感謝申し上げます。

新入生合同研修委員会

## 2. 2025年度新入生合同研修のテーマ及び目的について

テーマ：「良き医療人をめざして踏み出す第一歩のために」

目的：医学部・薬学部・看護学部の新入生が、新入生合同研修を通じて、多職種連携、医療人マインドの醸成、プロフェッショナリズムの基礎を涵養し、医療人としての第一歩になることを目的とする。

## 3. 開催概要

開催日時：2025年4月11日（金）10:00～18:00

開催会場：グランキューブ大阪（大阪府立国際会議場）3階イベントホール

### 【閉会式後 記念写真】

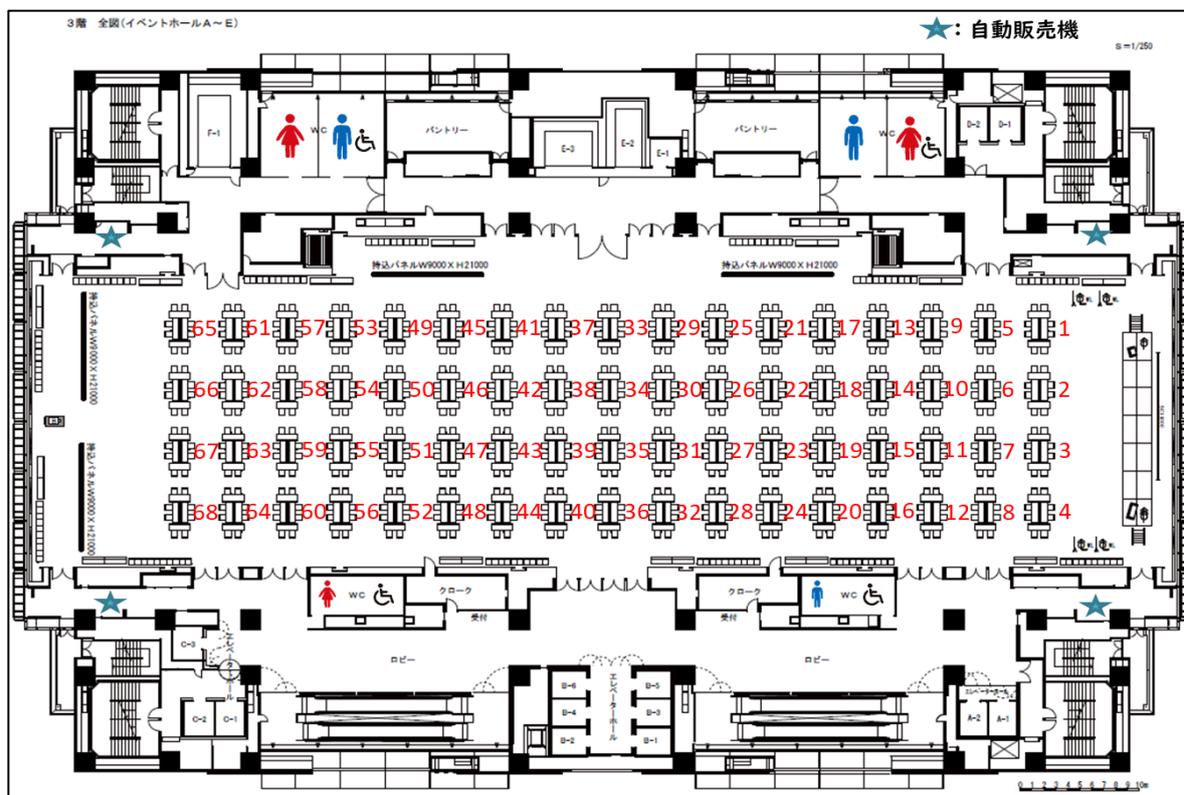


#### 4. 研修当日スケジュール

2025年4月11日(金)		
時刻	項目	内容
9:30	◆学生入場開始	・会場に入場し、座席にて待機してください。
10:00	◆開会式・オリエンテーション	・学長からのメッセージ ・オリエンテーション
10:15	◆在学生からのメッセージ	・薬学部 3分(1名) ・医学部 3分(1名) ・看護学部 3分(1名)
10:25	◆チーム別討議①	・全体説明 5分 ・自己紹介 10分 ・個人ワーク 10分 ・チームビルディング 5分 ・グループワーク 35分 (65分)
11:30	◆昼休憩(1時間)	
12:30	◆卒業生からのメッセージ	・薬学部 3分(1名) ・医学部 3分(1名) ・看護学部 3分(1名)
12:40	◆チーム別討議②	・グループワーク (110分)
14:30	◆ポスターの掲示・投票の説明	
14:40	◆ポスター閲覧・投票	一回での投票 (40分)
15:20	休憩 教員は実技物品の準備	「あっぱくん」「あっぱくんライト」の配布等
15:30	◆講演・実技(実施後の片付け含む)	演題:「目の前で人が倒れたらどうしますか? - 心肺蘇生・AEDの使い方 -」 大阪ライフサポート協会 副理事長 西本泰久様 (講演 50分 実技 30分 片付け等 10分)
17:00	◆成果発表会	・投票上位4チームの発表 5分×4チーム=20分 ・その他質疑応答 5分×4チーム=20分
17:40	◆アンケート実施	・Google フォームにてアンケート回答
17:50	◆閉会式	
18:00	◆終了	・集合写真撮影

## 5. 座席配置図

### (1) グランキューブ大阪 3階 イベントホール 座席配置図



以下の通り、68のチームに分け、座席配置を上記図面の通りとした。また、各チームには、3学部の学生が必ず含まれるようにチーム分けを行った。なお、昨年度の新入生数を案分して、各学部で、チューター教員を選出した。チューター教員には、チーム討議において、4つのチームを2人で担当し、チーム討議のファシリテート、資料・備品配布及び回収、成果発表会への参加などを行った。

- ・新入生チーム分け

チーム1～26 : 7人

チーム27～68 : 8人

- ・教職員 参加者内訳

教員数: 41人、うちチューター教員 34人 (医学部 7人、薬学部 21人、看護学部 6人)

職員数: 11人 (医学事務課 3人、薬学学生課 4名、看護学事務課 3名、企画・広報課 1名)

## (2) 3階イベントホール 当日風景



2025年度と同様に、新入生合同研修はグランキューブ大阪3階イベントホールをメイン会場とした。また、救護室を設け、保健管理室の教員が救護室の対応を行った。3階イベントホールのお手洗いは、男女ともに3カ所あったが、休憩時間に集中し、混雑することを避けるため、当日のオリエンテーションにおいて、チーム別討論などの時間中に適宜お手洗いを利用するよう周知を行った。また、後方席から前方のスクリーンが見えにくい場合を考慮し、後方にもモニターを2台設置した。

## 6. 開会式（学長からのメッセージ）

開会式において、学長から新入生へメッセージが贈られた。



## 7. 卒業生・在学生からのメッセージ

各学部の在学生1名、卒業生1名からの新入生に向けた動画メッセージ(約3分間)を視聴した(午前に在学生、午後に卒業生の動画メッセージを視聴)。在学生からのメッセージには、将来を見据えて、学生生活を有意義に過ごすポイントなど、具体的な内容が含まれており、新入生が大学時代をどのように過ごすか、イメージを抱くことができた。また、卒業生のメッセージには、将来医療人となり、どのような仕事に取り組んでいるか、医療人としてやりがいを感じた具体的な出来事、卒業してから気づいた大学の良い所などが含まれており、医療人を目指す新入生の将来像として参考にすることができた。

医学部関係	卒業生：大阪医科薬科大学病院 医療総合研修センター 臨床研修室 在学生：医学部5年生
薬学部関係	卒業生：大阪医科薬科大学病院 薬剤部 在学生：薬学部4年生
看護学部関係	卒業生：大阪医科薬科大学病院 看護部 在学生：看護学部4年生

## 8. チーム別討議

新入生合同研修のメインプログラムであるチーム別討論を、以下の内容で行った。

チーム別討議「良き医療人となるためのアクションプランをつくろう！」

### 【チーム討議の内容】

1. 将来どのような“良き医療人（医師・薬剤師・看護師など）”になりたいのか、様々な視点でとらえて自己分析し、チームで共有してください。
2. チームとして“良き医療人”とは何かを導き出し、“良き医療人”になるためには、学生生活をどのように過ごすのか、アクションプランを作製して、ポスターにまとめてください。

アクションプランとは・・・

“良き医療人”を目指すための学生生活における行動計画（守るべき事項、自らが課す約束事、ルーチンなど）であり、チームとして考案してください。必要に応じて、大学（教員）、友人、社会などとの関わりを含めてください。また、各学部で修業年限が異なることから、アクションプランの具体的な期限を定めず、検討してください。

### (1) チーム討議①

午前10時25分からのチーム討議①では、初めに学生が自己紹介を行い、その後、個人ワークとして将来どのような良き医療人になりたいか各自で分析し、その考えた内容を「目標設定シート」に書き出した。その後、チームビルディングとして役割分担を行った後、35分間のグループワークを行った。グループワークでは、個人ワークで導き出した内容をそれぞれ発表し、良き医療人になるために学生生活をどのように過ごすのかチームで話し合いを行った

#### ・チーム討議① プログラム

##### 1. 全体説明（5分）

##### 2. 自己紹介（10分）

名前、学部、趣味や出身、特技などの自己紹介（1人1分×7～8名）

##### 3. 個人ワーク（10分）

将来どのような“良き医療人（医師・薬剤師・看護師など）”になりたいのか、様々な視点でとらえて自己分析を行い、「目標設定シート」に可能な範囲で記入する。

##### 4. チームビルディング（5分）

司会、発表者、書記、タイムキーパーを決める

※司会と発表者は兼務可、ポスター作製は全員で。

### 5. グループワーク① (35分)

将来どのような“良き医療人(医師・薬剤師・看護師など)”になりたいのか、個人ワークで導き出した内容を発表する(1人2分×7~8人)

個人ワークの発表から、“良き医療人”とは何か、“良き医療人”になるためには、学生生活をどのように過ごすのかを、グループで話し合う(15分)

### (2) チーム討議① 当日風景



### (3) チーム討議②

お昼休憩後の12時40分から110分間チーム討議②を行った。チーム討議②では、午前中の討論を踏まえて、“良き医療人”とは何かを導き出し、“良き医療人”になるためには、学生生活をどのように過ごすのか、チームとしてアクションプランを作製して、チームで協力し、ポスターにまとめた。また、ポスター作製にあたっては、以下の留意点を予め学生に伝えた。

#### ポスター作製について

他者へ効果的にアクションプランを示すために、具体的なイメージ、キーワード、簡単な説明文をポスターにまとめてください。

##### ①ポスターに必ず入れる項目

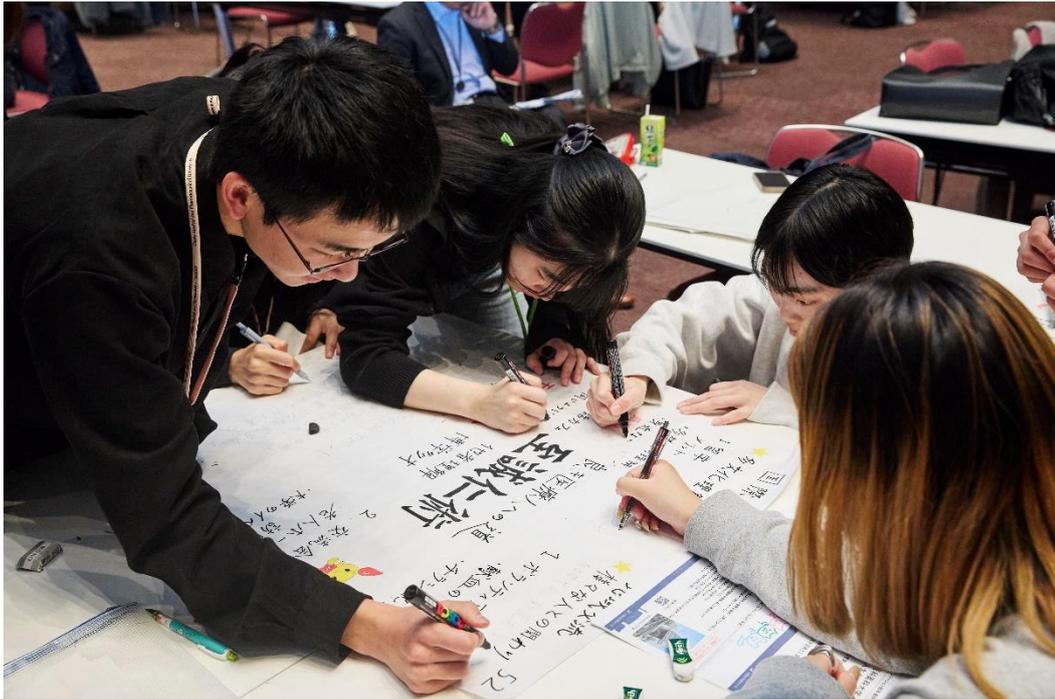
1. どのような“良き医療人”になりたいのか具体的なイメージとその説明
2. 良き医療人になるために、学生生活をどのように過ごすのか、様々な視点でとらえたアクションプランとその説明
3. ポスターの右上に、『チーム番号』を記入

##### ②ポスター作製の留意点

1. チームで協力して、ポスターを清書する。
2. ポスター1枚に発表の内容をまとめる。
3. 文字は大きく見やすいように記入する。
4. 効果的にアクションプランを示すためにイラストや図表を適宜使用する。

### (4) チーム討議② 当日風景





#### (5) チーム討議での新入生の様子について

チーム討議①が始まった頃は、初対面の学生もいることから少し緊張した様子だったが、グループワーク①で自分の意見をメンバーに説明し、チーム討議②が始まった頃には、新入生同士の交流が活発に行われ、机やテーブルのレイアウトを変更してリラックスした状態で、積極的にチーム全員でポスター作製を行う様子が見られた。

休憩時間などの合間の時間を利用し、学生が同じチームの学生等と交流を行うことで、学生の関係性が深まり、学生が楽しみながらポスター作製することができた。

### 9. 学生によるポスター掲示、成果物への投票について

#### (1) グループへの割り振りについて

学生によるポスター掲示及び成果物への投票に先立ち、以下の通り、4つのグループ(A,B,C,D)に、グループ分けを行った。

【グループ割り振り】グループA：チーム 1～17

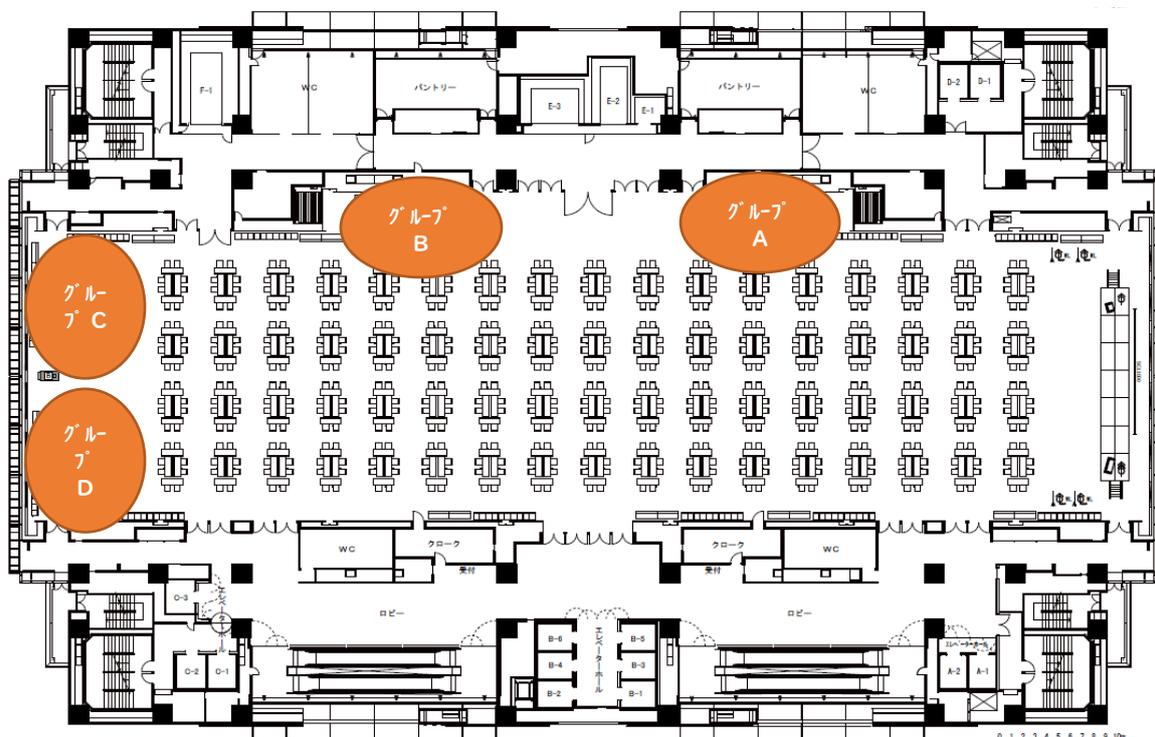
グループB：チーム 18～34

グループC：チーム 35～51

グループD：チーム 52～68

## (2) ポスターの掲示について

以下の箇所に、パネルを設置し、各チームの代表者が、チーム番号の表示があるパネルに、チーム討議の成果物であるポスターの掲示を行った。



## (3) 投票について

ポスター掲示の後、成果物のポスターを新入生が見て回った。

投票については、14:40~15:20の40分間で以下の指定されたグループのポスターを見て回り、時間内に、研修実施要領（当日配布資料）に記載されたQRコードを学生自身のスマホで読み取り、アクセスした投票ページから投票を行った。スマホを利用できない学生は、紙で投票できるように準備を行った。

学生自身のスマホを用いることにより、学生による成果物への投票を可能とし、成果発表会までの集計作業を円滑に行うことができた。

以下のとおり投票した。

- チーム 1~17 の学生は、グループ B (チーム 18~34) のポスターを見て投票
- チーム 18~34 の学生は、グループ A (チーム 1~17) のポスターを見て投票
- チーム 35~51 の学生は、グループ D (チーム 52~68) のポスターを見て投票
- チーム 52~68 の学生は、グループ C (チーム 35~51) のポスターを見て投票

#### (4) ポスター閲覧・投票 当日風景



## 10. 講演・実技

講演では、大阪ライフサポート協会 副理事長の西本泰久氏に、「目の前で人が倒れたらどうしますか？～心肺蘇生・AEDの使い方～」という演題で講演頂いた。



実技では、あっぱくん、あっぱくんライトというトレーニングキットを用いた胸骨圧迫とAEDの使い方を学習した。









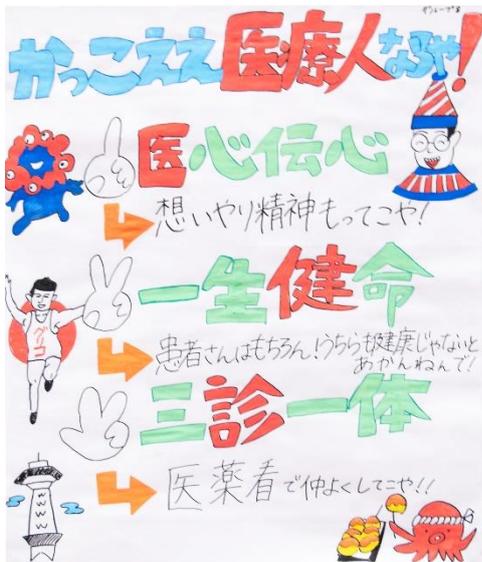
## 11. 成果発表会

### (1) 成果発表会

学生の投票により、4つのグループのなかで最も投票数の多かったチームは登壇し、“良き医療人”とは何か、“良き医療人”になるためには学生生活をどのように過ごすべきか、成果物を用いて発表を行った。またチームを担当したチューター教員も登壇し、コメントを頂戴した。

### (2) 各グループで最も投票数が多かったチームの成果物

グループA チーム8 (投票数36)



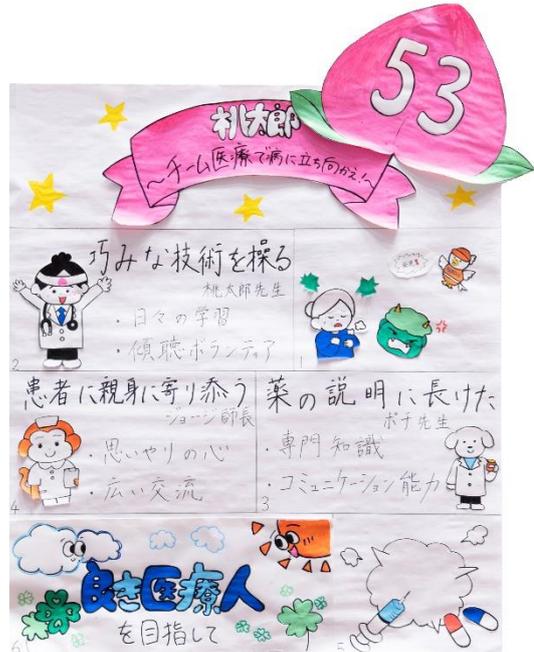
グループB チーム30 (投票数31)



グループC チーム38 (投票数43)



グループD チーム53 (投票数43)



### (3) 成果発表会 当日風景



## 12. 新入生合同研修委員会の活動について

### (1) 準備・実施スケジュール

2025年度 新入生合同研修 準備・実施スケジュール

担当	内容	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
	委員会開催スケジュール	●	●	●	●	●	●		●
委員会審議事項	合同研修 開催形式等の概要の確定	→							
委員会審議事項	在学生・卒業生メッセージ、チーム討議の内容、講演者の確定	→	→	→					
委員会審議事項	チーム討議のチューター教員の人数、役割、従事時間の確定	→	→						
委員会審議事項	新入生・チューター向け説明内容の確定・Zoom説明会の実施				→	→	3/18 (オンライン開催録youtube)		
委員会審議事項	合同研修 最終確認						→		
委員会審議事項	合同研修 報告書の承認								→
主幹事務	執行経費に関する決裁関の起案		→	→					
各学部事務	チューター教員の選出依頼・自己紹介スライドの作成依頼	チューター教員選出 締め切り12/20	→	→	→	自己紹介シート 2/15締め切り			
主幹事務	チューター教員、自己紹介文の取り纏め					→			
支援センター	卒業生・在学生へのビデオメッセージ依頼		→	→	→	ビデオメッセージ 2/15締め切り			
支援センター・ 主幹事務	講演の依頼		→	→		→	配布資料・略歴 3/31締め切り		
主幹事務	当日の配布資料、筆記用具等の準備・作成				→	→	→		
支援センター・ 各学部事務	オリエンテーション説明用簡易スライド作成					→	3/18完成・印刷	4/1チューターにメール配信 新入生はオリエンテーション時	
支援センター・ 各学部事務	合同研修当日配布用 説明資料作成※				→	→	3/31完成・印刷		
主幹事務・ 各学部事務	新入生・チューター名簿・チームの割り振り 配信						→	4月8日チューター教員 へメール配信	
支援センター	新入生オリエンテーション 新入生への説明						→	4月上旬	
全員	本番 2025年4月11日 (金)							★	
支援センター・ 各学部事務	報告書作成								→

#### 確認

※ 学生への配付物の確認。

記載事項：施設の地図、避難経路、チューターの紹介、チーム分け名簿他

1. 各学部新入生オリエンテーション時に簡易版資料を配付、2. 4月8～10日にチーム分けをユニバ配付、3. 当日説明資料を配付

## (2) 新入生合同研修委員会 開催状況

### 第1回委員会

日時：10月9日(水)12:30～13:30

場所：特別応接室 ※zoom 併用

議事：

- 1.2025年度新入生合同研修委員会  
委員長・委員について
- 2.新入生合同研修の開催案について
- 3.新入生合同研修準備スケジュールについて
- 4.チューター教員、卒業生・在学生メッセージ、講演者の検討

### 第2回委員会

日時：11月8日(金)12:30～13:30

場所：特別応接室 ※zoom 併用

議事：

- 1.研修準備・当日スケジュールの確認
- 2.チューター教員の選出、卒業生・在学生の選出
- 3.講演および実技について
- 4.チーム討議の内容検討

### 第3回委員会

日時：12月12日(木)12:30～13:30

場所：中会議室 ※zoom 併用

議事：

- 1.研修準備・当日スケジュールの確認
- 2.在学生・卒業生のメッセージについて
- 3.講演および実技について
- 4.チーム討議のテーマ、内容検討
- 5.投票方法について

### 第4回委員会

日時：1月22日(水)12:30～13:30

場所：中会議室 ※zoom 併用

議事：

- 1.研修準備・当日スケジュールの確認
- 2.実技の実施方法について
- 3.チューター教員の選出状況について
- 4.チューター教員への業務説明会・配布資料について
- 5.在学生・卒業生の選出状況について
- 6.新入生オリエンテーション時の配布資料作成について

### 第5回委員会

日時：2月18日(火)10:00～11:00

場所：特別応接室 ※zoom 併用

議事：

- 1.研修準備・当日スケジュールの確認
- 2.実技の実施方法について
- 3.チューター教員自己紹介スライドについて
- 4.チューター教員への業務説明会について
- 5.当日配付資料、準備物品について
- 6.サブモニターの設置および写真撮影について
- 7.終了後アンケートについて
- 8.弁当の選定、チューター教員の昼食会場について

### 第6回委員会

日時：3月18日(火)11:00～12:00

場所：特別応接室 ※zoom 併用

議事：

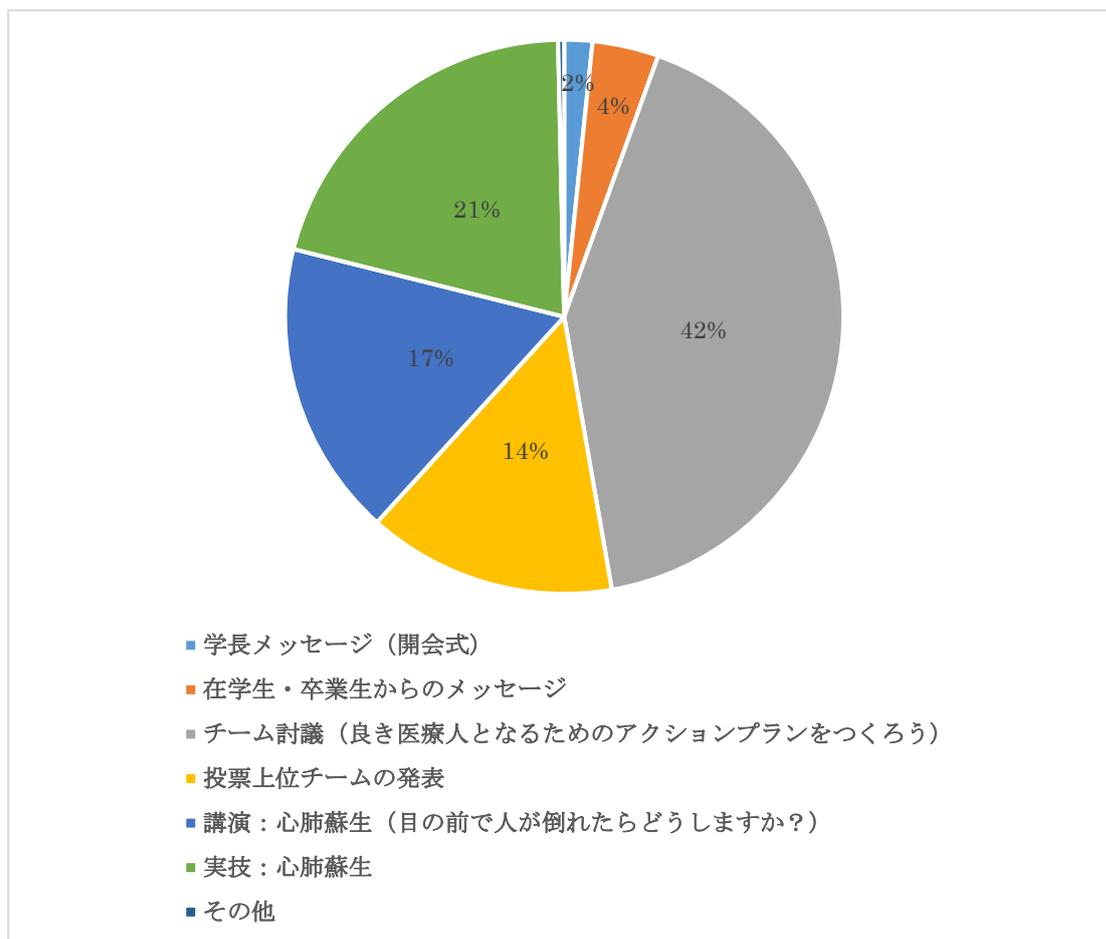
- 1.研修準備・当日スケジュールの確認
- 2.委員及びチューター教員の変更について
- 3.チューター教員自己紹介スライドについて
- 4.研修実施要領について
- 5.新入生オリエンテーション説明スライドについて
- 6.当日の司会分担について
- 7.当日投影スライドについて
- 8.終了後アンケートについて

新入生合同研修委員会 委員一覧

No.	所属／役職	名前	備考
1	薬学学生生活支援センター長	藤森 功	委員長
2	医学学生生活支援センター長	金沢 徹文	
3	看護学学生生活支援センター長	池西 悦子	
4	医学教育センター長	中野 隆史	
5	薬学教育センター長	永井 純也	
6	看護学教育センター長	真継 和子	
7	医学部 専門教授	境 晶子	
8	保健管理室 講師	澤村 律子	
9	医学部 講師	谷口 高平	
10	薬学部 教授	岩永 一範	
11	薬学部 教授	芝野 真喜雄	
12	薬学部 専門教授	角山 香織	
13	看護学部 講師	間中 麻衣子	
14	看護学部 講師	杉木 佐知子	
15	看護学部 講師	山埜 ふみ恵	
16	学務部医学事務課 課長	藤原 佐智	
17	薬学学務部 次長	前田 将昭	
18	学務部看護学事務課 課長	上久保 純	

### 13. 新入生アンケート結果(選択：回答数 503)

(1-1) プログラムのうち、印象に残った内容は何ですか？ (選択) ※複数選択可



(1-2) (1-1)の回答について、それぞれを選んだ理由についてお聞かせください。  
回答数：503 (以下重複意見等は削除)

#### 学長メッセージ (開会式)

- ・ 品位という言葉が大事にされていることがわかったから。
- ・ 学長のメッセージは医療人を学ぶ上での指標を得られた。

#### 在学生・卒業生からのメッセージ

- ・ 先輩のお話を聞く機会があまりなかったから。
- ・ 同じ学部で学んだ人の話を聞くことができよかったから。
- ・ これからの学校生活での過ごし方や今後について参考になった。
- ・ リアルな在校生の生活がこれからの自分の生活スタイルの参考になったし、卒業生のお話も将来像がより明確に考えられるようになってとてもためになって印象に残っています。
- ・ 在学生、卒業生の充実した生活を自分もしてみたいと思った。
- ・ 自分がまだ大学生になったばかりで知らないこと多いから。

- ・ 大学生生活のビジョンがわかりやすく説明されていてこれからの大学生生活を主体的に学んでいこうと思えたから。

### チーム討議（良き医療人となるためのアクションプランをつくろう）

- ・ みんなで協力して意見を出し合いポスターにまとめられたのが達成感があったから
- ・ 他の学部の子と意見を交換し、職種間の違いについて考えられたから。
- ・ みんなそれぞれが自分のアイデアを出し合って何度も面白い意見が出たため。
- ・ 他職種での連携の取り方の1歩を学んだ気がしました。
- ・ 初めて、医療人を目指している人同士で真剣に話し合うことが出来たから。
- ・ 3学部それぞれの医療人に対する考えを擦り合わせることが出来たから。
- ・ チーム医療とは何かをみんなで共同で考えるきっかけになったため。
- ・ 医・薬・看の三つの学部の意見がたくさん出て、興味深い取り組みだと思ったから。
- ・ 初めは学部も違うので緊張していたが、同じ医療人を目指す人としてすぐに打ち解けて楽しく討論することができたので印象に残った。
- ・ 良い医療人とは、ということについて深く考えるいい機会になった。
- ・ チームのみんなでたくさん話し合って、絵を描いたり役割分担をして疲れるくらいみんなで一生懸命活動したから。

### 投票上位チームの発表

- ・ 自分じゃ思いつかないアイデアや考えを見れたから
- ・ それぞれチームによって表現が違って面白かった
- ・ とても印象に残るように工夫されていてすごい魅力的だったから
- ・ 同じテーマを与えられたはずなのに、ユニークな柔らかい頭を持った方たちのポスターがすごく印象に残ったし凄いなと思ったからです。
- ・ 受賞したグループは、ユーモアなデザインで、また、発表のための準備までされていたのですごいと思いました。

### 講演：心肺蘇生（目の前で人が倒れたらどうしますか？）

- ・ 実際の心臓の動きとかを見ることが出来た、心肺蘇生がどれだけ大切か知ることが出来た。
- ・ 心配蘇生の講義は、中学や高校で見ていたものとは違って映像も事例もあったのでリアルに感じる事ができて印象に残った。
- ・ 実際のビデオなどを見て緊張する場面で自分がどう動くのかもイメージができました。
- ・ 心肺蘇生の講義では心肺停止して亡くなる方の多さに衝撃を受けました。
- ・ 心肺蘇生の講演ではその重要性を改めて認識することができ、今後役に立てることができると思った。

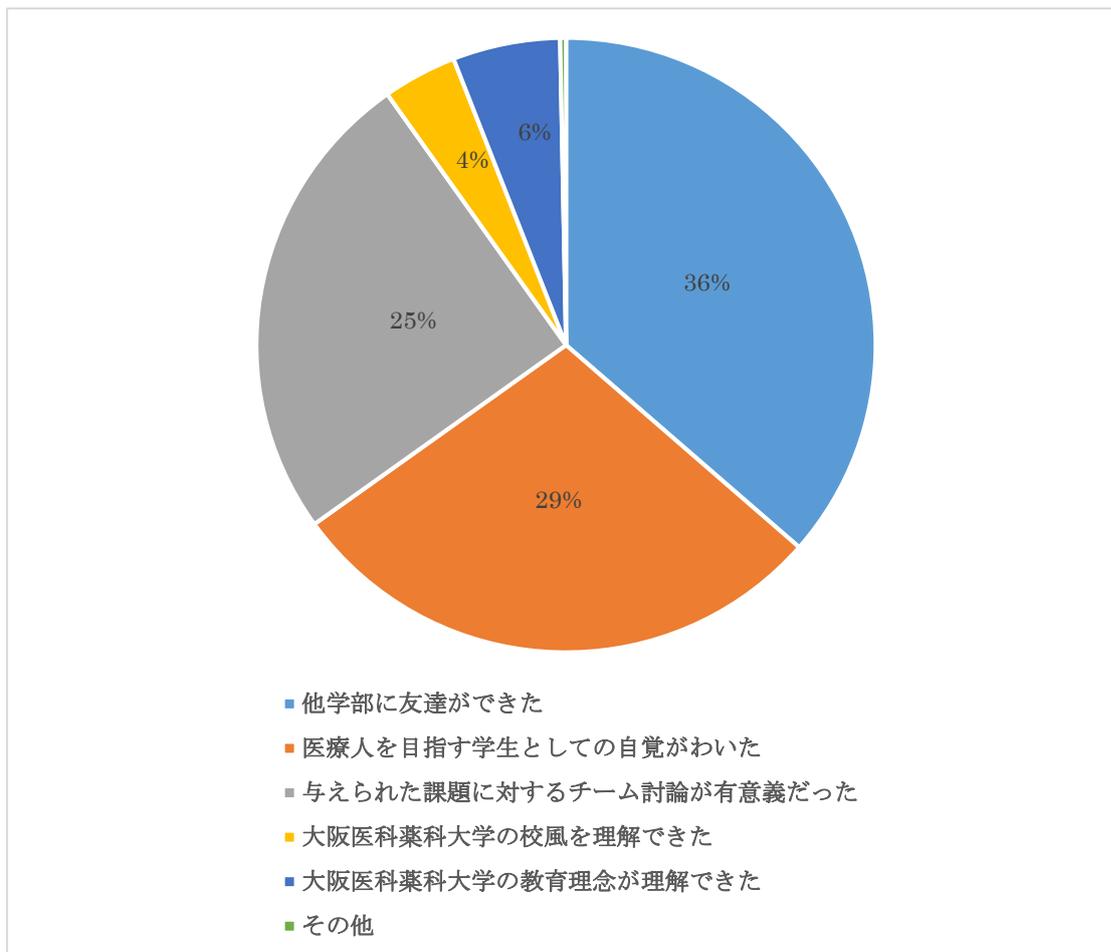
### 実技：心肺蘇生

- ・ 心肺蘇生の重要性についてよく考えるきっかけになり、また、なかなか体験できない実習をすることができたから。
- ・ 心肺蘇生を実際にやってみることによって、もしそういう場面があった時に自信を持って対応できると思ったから。
- ・ 今まで心臓蘇生の実技に取り組んだことがなかったので、今回はじめて取り組むことができ、とても有意義な経験になったため。
- ・ 実際実演して結構体力がいるし、他の人と協力しなければならないとわかった。
- ・ 医療人として欠かせない心肺蘇生も入学して早い段階で経験出来たため。
- ・ 心肺蘇生法を学び、もし人が倒れているのを見たら、すぐに絶対にかけて、適切に対処できる人になりたいと強く思ったから。

### その他

- ・ 昼休み：グループ内で仲を深められた

(2-1)プログラムを受講して良かったことは何ですか？（選択） ※複数選択可



(2-2) (2-1)の回答について、それぞれを選んだ理由についてお聞かせください。

回答数：503（以下重複意見等は削除）

他学部で友達が出来た

- ・ 友達が増えてよかったです。
- ・ 他学部の子とたくさんお話ができた、また久しぶりに討論を経験できて有意義な時間だった。
- ・ グループディスカッションで仲良くなれた。
- ・ 普段は違うキャンパスで会えない友達と知り合えたのが嬉しかったから。
- ・ 普段他学部と関わる機会が多くは無いから。
- ・ 他学部の人ととても仲良く、楽しくポスターを制作できたから。
- ・ 普段関わることの無い人と医療について真剣に考えられたのがいい機会になったと思うから。
- ・ 多職種連携をする上で、心強い友達が出来たから。
- ・ それぞれ夢は違うけれど同じ医療職としての思いを聞くことができた。
- ・ 違う学部の意見を聞くことが出来て、とても参考になったし、一緒に頑張っていきたいとつよく思えることができました。
- ・ この研修が終わった後もこのメンバーで集まりたいと思えるほど交流を深める事ができた。

### 医療人を目指す学生としての自覚がわいた

- ・ 多角的な視点から医療人についての討論を行えた。
- ・ 医療人として目指すべき姿が明確化されたから。
- ・ 一医療人として考えていけないことを学べた。
- ・ 改めて自分の考えを整理したり、人の意見を聞いて医療人とはどうあるべきかを考えることが出来たから。
- ・ 他職種連携を重視する心構えを持つことができた。
- ・ 医療人としての自覚を持つことができ、これから大学ですべきことが何となく見えてきた気がするから。
- ・ 自分が考えていたよき医療人とはまた違った考えを知ることができて視野を広げることができたから。

### 与えられた課題に対するチーム討議が有意義だった

- ・ 良き医療人というテーマが深かった。
- ・ いろんな職種の意見を聞くことができたから。
- ・ 良き医療人という一生涯かけて突き詰めていく標題について考えるきっかけとなった。
- ・ 目標を決めて討議する感じがとてもよかったから。
- ・ 良い医療人になるための有意義な話をたくさんすることが出来て、楽しかったです。
- ・ 良き医療人として何が大切か明確にして、共有することができた。
- ・ チーム討論をする上で自分の中のぼんやりとした医療人のイメージがしっかりとついたので目指すべきものが見えた気がして有意義に感じました。
- ・ 他の学部の人とも協力してひとつの事をやれてよかったと思うから。
- ・ チームの人達と仲良くなれたし、仲良くなれたからこそいい討論ができたのではないかと感じているから。
- ・ チーム討論を行って、コミュニケーション能力の重要性を改めて認識できたから。
- ・ 違った考えもあれば似たような考えもあって、自分の良い医療人に対する見解が広がったから
- ・ チーム医療に必要な能力だと思う。
- ・ 改めてどんな医療人になりたいかを深く考える良い機会となった。
- ・ チーム討論でアクションプランを考えることでよりこれから学校生活、授業が始まっていくという実感がわいたから。
- ・ 全員の意見を聞き否定することなく全員が笑顔で討論ができたから。
- ・ ポスター作りで案出しをしていく中でだんだん打ち解けて議論も白熱してすごく楽しかったからです。
- ・ チーム討論も、和やかな雰囲気の中でたくさんアイデアを出すことができたからです。

#### 大阪医科薬科大学の校風を理解できた

- ・ 入学式だけじゃ雰囲気がわからなかったから
- ・ 同学年の人の雰囲気を見ることができたから。
- ・ どういう学校か理解できた
- ・ 3学部合同でやるのはこういう感じかということが理解できた！
- ・ 大阪医科薬科大学が他学部との関わりも大事にしていることがわかったから。

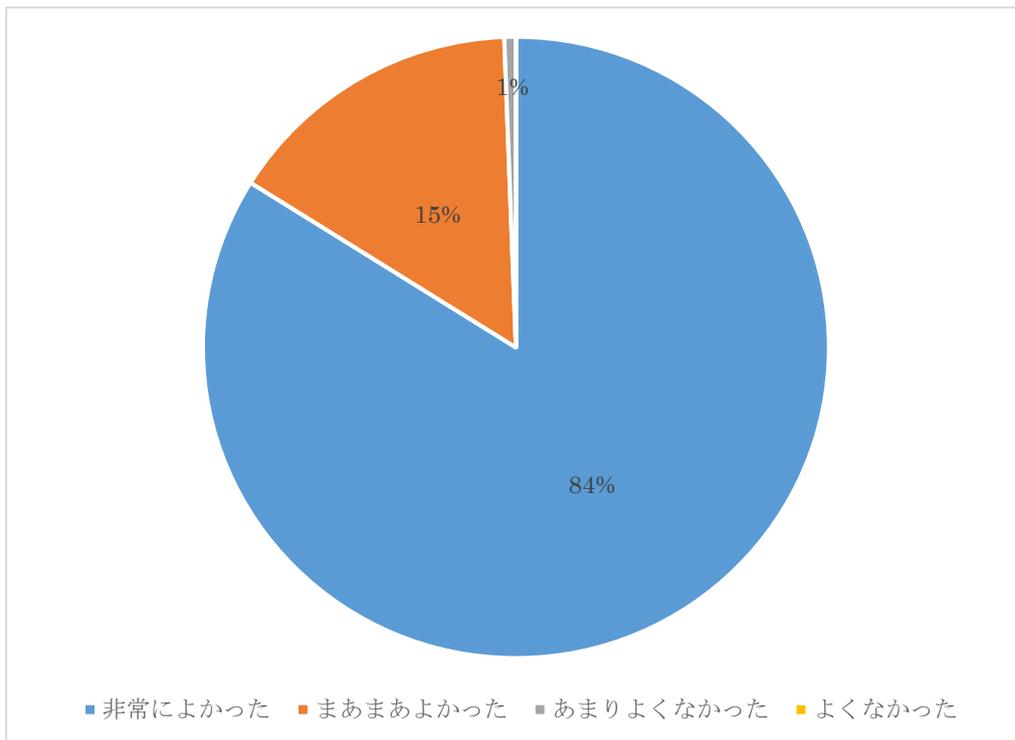
#### 大阪医科薬科大学の教育理念が理解できた

- ・ 多職種連携について重視されていることが実感できた。
- ・ 大阪医科薬科大学でしかない多職種連携教育の貴重な体験ができて本当に良かったと感じたから。
- ・ 教育理念の理解が深まってとても良かったから。

#### その他

- ・ AED・胸骨圧迫の体験ができたこと。
- ・ 心停止の際の対応を学ぶことができた。

(3-1)対面での開催についてお聞きします。(選択)



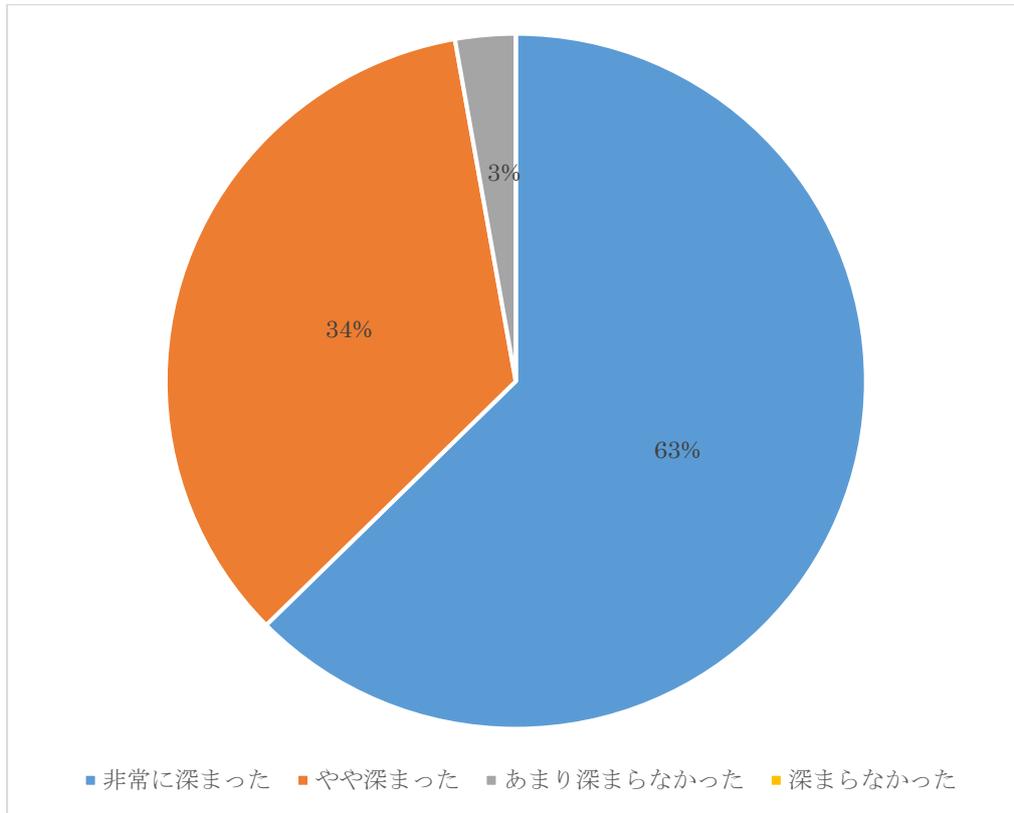
(3-2)(3-1)の回答について、それぞれを選んだ理由についてお聞かせください。

回答：503（以下重複意見等は削除）

- ・ 対面なので非常に集中できたから。
- ・ 実際に見て聞いて話したからこそ良かったと思ったから。
- ・ 友達ができたから。
- ・ お互いの表情を見ながら建設的な話し合いが行えた。
- ・ すぐ打ち解けていけた。
- ・ オンライン上だと味わえない空気感があるため。
- ・ 対面の方が親近感が湧きやすいから。
- ・ パソコンに不慣れだから。
- ・ コミュニケーションがとりやすい。
- ・ 他学部の人と沢山話せたからです。
- ・ 顔合わせすることで仲良くなれました。
- ・ 意見を直接共有できたから。
- ・ オンライン講習は苦手だから。
- ・ 一緒にポスターを作る時間が楽しかったから。
- ・ 対面でしか出来ない活動が何個もあったから。
- ・ 対面の方が、人と関わっている感じがより一層するから。
- ・ 服装など色々なことが分かったから。

- ・ 対面での実施により分かりやすさや体験感があったから。
- ・ 人の表情やしぐさなどのボディランゲージを用いてコミュニケーションを取ることができた。
- ・ 対面で開催されたことで、お昼ご飯中などにも喋って仲を深めることが出来たから。
- ・ ここにいる学生全員が医療者の仲間だと思うと心強く、これから大変なことがあっても乗り越えられると思えたから。
- ・ 実際に心配蘇生の体験ができたから。
- ・ 普段とは違う環境で講習を受けることが新鮮だったから。
- ・ 対面だからこそ一体感が生まれたと思うから。
- ・ リモートではグループワークなどしにくい。
- ・ 大阪医科薬科大学の雰囲気というのを全体で感じる事ができたから。
- ・ 緊張感があったから。
- ・ 能動的に取り組むことで理解が深まったから。
- ・ オンラインで合同の授業を受けるよりも顔を合わせて他学部同士で協力するという体験がとても良かった。
- ・ 知らない人だらけの環境に身を置き、そこで試行錯誤しながら目的におかかって親睦を深められたため。
- ・ 対面だと実際に顔を合わせて話せるので、会話のテンポが良くなる。
- ・ みんなで直接会って話し合えたのはすごく楽しかったし、自分は高校3年間コロナでこういうイベントは全てオンライン上で開催だったのでオフラインでできたことにとても嬉しかったです。
- ・ 会場がちょっと遠い。
- ・ 時間がだいぶ取られたため。

(4-1)参加前と比べて、参加した後のほうが、自分が入学した学部で学ぶべきことの理解が深まりましたか。 ※選択



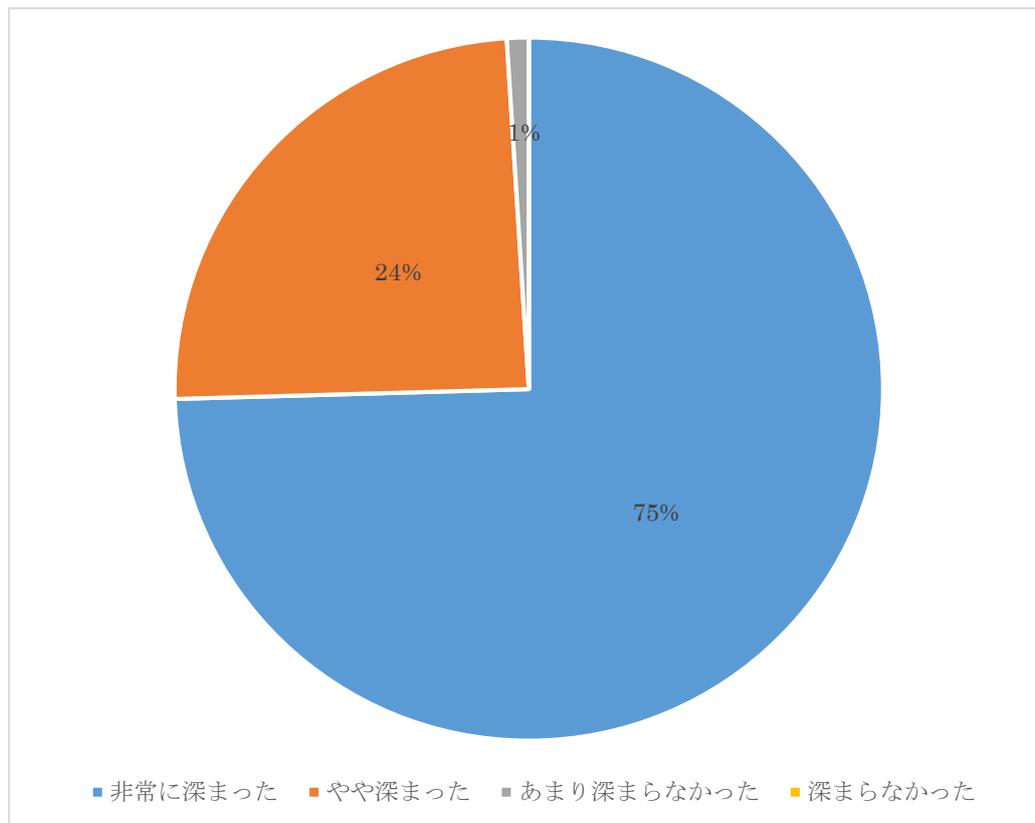
(4-2)(4-1) の回答について、それぞれを選んだ理由についてお聞かせください。

回答数：503（以下重複意見等は削除）

- ・ 医療人としての意識を変えるきっかけになったから。
- ・ 各グループのポスターをみていろいろな考えを知り、よき医療人をめざすためのヒントを得れたから。
- ・ 実際にその議題で話したから。
- ・ 在学生や卒業生の方の意見を聞くことができたため。
- ・ 命を救う基本を知れた気がしたから。
- ・ 入学前はそれほど考えていなかった。
- ・ 他の人の意見が聞けたから。
- ・ それぞれの学部での役割や立場をお互いに話し合う機会だったから。
- ・ 自分の役割がよく分かったから。
- ・ 品位を大切にしようと思った。
- ・ 新しい発見があり、非常にためになった。
- ・ 実際に書き出すことで明確化された。
- ・ 班のメンバーや、在校生・卒業生の話を聞いて、より深く自分たちが学んでいく学問について理解できたから。

- ・ 将来的にはチームとして動くのだという自覚を持てた。
- ・ より良い医療人になるにはどうしたらいいのか具体的にわかったから。
- ・ 各学部の特性を考え直すきっかけになった。
- ・ 以前よりも考え方の視野が広がったから。
- ・ いろんな学部と話してたから自分の学部だけに集中して考えていなかったから。
- ・ ポスターを作るにあたって色々考えさせられたから。
- ・ 他の医療人と意見を交わして薬剤師として医療に関わることの大切さや重要さを改めて実感できたから。
- ・ まだ全て理解していないから。
- ・ どの学部にも共通して意識することもあれば、看護学部だからこそより意識しなければならないこともあるのだと感じたから。
- ・ ある程度わかっていたことが多い。
- ・ 全て良い医療人となるための準備であると再確認したから。
- ・ 医師が絶対ではなく患者主体であることを再認識した。
- ・ 大学でのアクションプランを考えるきっかけになったから。
- ・ さまざまなポスターを見て色々な医師像を考えれたため。
- ・ 多職種連携の講義などの必要性を確認できたから。
- ・ AED も知識がないとすぐに行動できないから人の命を救うためにこれから学んでいかないといけないと改めて思わされたから。
- ・ 元々目標が明確に決まっていたから、そこまで変わらなかった。
- ・ チーム内に医学部が自分一人だけだったので、その討議ができず、十分には深まらなかった。
- ・ 同じ医療人でも、それぞれ役割が異なっていて自分の専門分野を極めることが必要だと実感したから。
- ・ ただ単に医学的知識を蓄えるだけが医学部での学びではないと改めて認識できたため。
- ・ 自分一人だと考える時間はそう取らないと思うのでよく考えられてよかった。
- ・ 今朝と夕方では医療人になる学生として学び方の姿勢が変わりました。
- ・ アクションプランの案を挙げていくことで、すべきことが明確になった気がするから。
- ・ 討論することでこれから何をすべきか整理できたから。

(5-1) 参加前と比べて、参加した後のほうが、良き医療人となるために必要なことの理解が深まりましたか。 ※選択



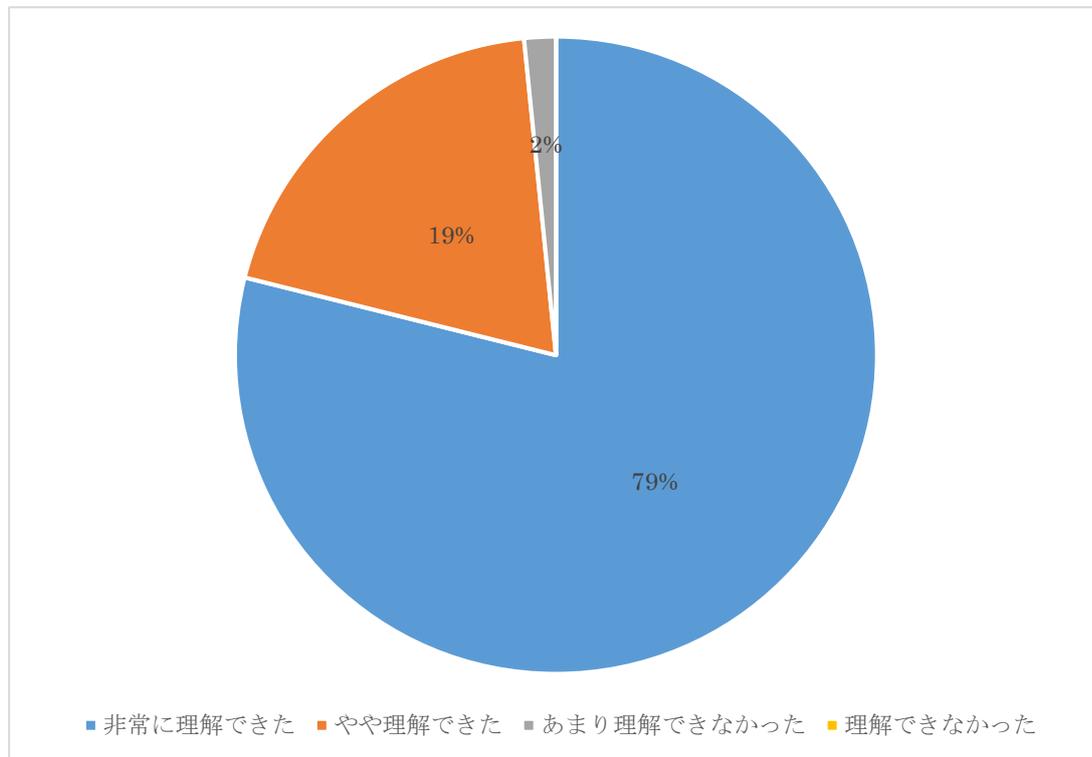
(5-2)(5-1)の回答について、それぞれを選んだ理由についてお聞かせください。

回答：503（以下重複意見等は削除）

- ・ 多くのポスターに「患者さんと寄り添う」という共通の考えが書かれていることに気付き大切にしようと思ったから。
- ・ 良き医療人についてのたくさんの意見を見て聞いて自分になかった必要な事をしれたから。
- ・ 発表するために色々調べたりしたから。
- ・ チーム医療の大切さがより感じられた。
- ・ 皆で協力することで自分のやるべきことがわかったから。
- ・ 良き医療人の概念を初めて深く考えることができたから。
- ・ 書き出したことで整理された。
- ・ 役割分担の重要性が分かったから。
- ・ ディベートが盛んにおこなわれたから。
- ・ これからの未来に向けて頑張っていくことが明確にわかった。
- ・ みんなで長い時間をかけてじっくり話し合うことができたから。
- ・ 様々な立場からの視点も取り入れながら医療人マインドについて考えられたから。

- ・ 上位発表者の言葉が胸に刺さったから。
- ・ 国際的な部分も視野に入れることの重要性を学べたから。
- ・ 連携の部分がよく分からなかったから。
- ・ チーム医療が推進されてる現代にとって貴重な時間を過ごすことができたから。
- ・ 入学する前から医療人についての講演会を聞く機会が多数あったため。
- ・ 医療人としての自覚はもちろん、もし街に倒れた人が居た時に活躍出来る存在は自分たちであることを再実感した。
- ・ 相手への思いやりや話し方コミュニケーションの面が大切だと思った。
- ・ 心停止の講義を受講できたから。
- ・ AED の理解が深まったから。
- ・ それぞれの立場の人としての役割を果たす使命感を持つことが出来たから。
- ・ 私たちのチームでは特にコミュニケーションを大事にしようという考えになり、必要なことがわかったから。
- ・ 様々なことを兼ね備えたジェネラリストである必要があると分かった。
- ・ 良き医療人となる上での大切な事項を沢山しれて、改めて6年間頑張りたいなと思いました。
- ・ 人の意見を聞いたり自分の意見を整理したりしたことで良き医療人としての目標が明確になったから。
- ・ 社会における医療人の役割がよくわかったから。
- ・ 同じ仲間と一生懸命考えたから。
- ・ コミュニケーション能力と知識は勿論のこと、自分が思っていることが患者さんにとって適切であるか考えることが出来たから。
- ・ アクションプランに書き出すことで、良き医療人としての理想像が明確化したからです。
- ・ 卒業生、在校生のメッセージを聞き、これからの展望がすこし見えてきた。これからどのように学校生活を過ごしていくかを考える機会となった。
- ・ いつもとは別目線の患者さんからの視点で考えることができた。
- ・ 対応力も大事だなと気付かされました。
- ・ 信頼を得るためにさまざまな能力があると知った。
- ・ とにかく、様々なプロフェッショナルの意見を的確に取り入れることの重要性を理解した。
- ・ 良き医療人となるために、を自分自身で考えたことがあったが、たくさんの人と意見を交流して話し合うことでこんな所もあるのかという発見があったり、もっとこうしようこれも自分に取り入れようと思えることが出来た。

(6-1)参加前と比べて、参加した後のほうが、多職種連携の重要性を理解できましたか。 ※選択



(6-2)(6-1)の回答について、それぞれを選んだ理由についてお聞かせください。

回答：503（以下重複意見等は削除）

- ・ 3学部で連携してポスターを完成させることができ、協力の重要さを感じたから。
- ・ それぞれの学部にしかならないこともあるし、互いのことを知らないといけないものもあるので参加出来て良かった。
- ・ 医薬看で連携ができたとき医療の際の効率がとても良くなると感じた。
- ・ 色々な職業の視点から解決策を考えて、理解を深めることができたから。
- ・ 役割分担こそ大切だと気づいたから。
- ・ 実際に体験することができたため。
- ・ 患者さんに対して協力して話し合いが大事だと思ったから。
- ・ 連携が必要なプログラムだったから。
- ・ 今日の色んな話から、医薬看の支えがあって患者さんの治療だったり、その後のサポートを行うことができると知ることができたから。
- ・ 助け合っていないと患者さんを救えないと思ったから。
- ・ 何一つの学部も欠けてはいけないと思った。
- ・ 職種に寄って違う意見があったため。
- ・ 医療には様々な仕事があり一職種だけではカバーできないから。

- ・ それぞれの役割を全うすることが大切だと思った。
- ・ 連携することで患者さんに合った医療を提供することができると思ったから。
- ・ 他学部の方とは仲良くなれないかもしれないと思っていましたが、全然そんなことはなく分け隔てなく仲を深めれてとても嬉しかったです。
- ・ 職種によって医療への手段が違うことを理解できた。
- ・ 授業だけではそれぞれの学部の考えが分からなかったけど、対面で他の学部と会うことで考えが変わった。
- ・ 討議内容が良かった。
- ・ 今後社会に出ても同じようなことになるから。
- ・ 明確には分からなかったから。
- ・ こうやってポスターと一緒に作るというだけでも協力することが必要だと分かったので、医療現場でも同じだと思うから。
- ・ 実際医療行為をしたわけではないので、ある程度の理解にとどまる。
- ・ 多職種連携の話はあまりなかった。
- ・ 卒業生の言葉を聞いたから。
- ・ 薬学、看護に関してはあまり理解を深められなかったから。
- ・ チーム討議ではあまり職種を意識せずに討議したから。
- ・ 職種ごとに役割は違っても情報などを共有すべきなので、その重要性を認識できたことは有意義。
- ・ 看護師だけでは、医師だけでは、薬剤師だけでは医療はなりたたなく、それぞれがチーム医療として協力することが大事だと理解出来ました。
- ・ チームワークの真髓を理解できたから。
- ・ 7人で話すとき色々案が出てスピーディーに物事が進んだから。
- ・ 今回のお題は多職種連携の重要性というより医療人に重要なことを学ぶことがメインだったと感じたため。
- ・ みんなで協力し一つの作品を完成させることが出来たから。多職種連携でも今日の研修のように相手を尊重し協力し合う姿勢が大切だと感じさせられたから。
- ・ もう少し知識をつけてからもう一度行ってみたい。
- ・ 個人では AED を取りに行く作業と心配蘇生の両方ができないのと同じように個人でできることが少ないと感じたから。
- ・ 他学部とも仲良くできたことで他職種連携のイメージが強くなったから。
- ・ 文字にすることでより理解することが出来た。
- ・ 実際の動画を視聴して、ひとつの医療機関では人の命は助けられないと実感したから。
- ・ 他学部との交流や、学部内での話を聞き、連携することは意外と難しいこともあると思います。随時このような機会を設ける重要性を感じました。

(7)三学部合同で行ったことについての感想や、その他意見があればお願いします。

回答：503（以下重複意見等は削除）

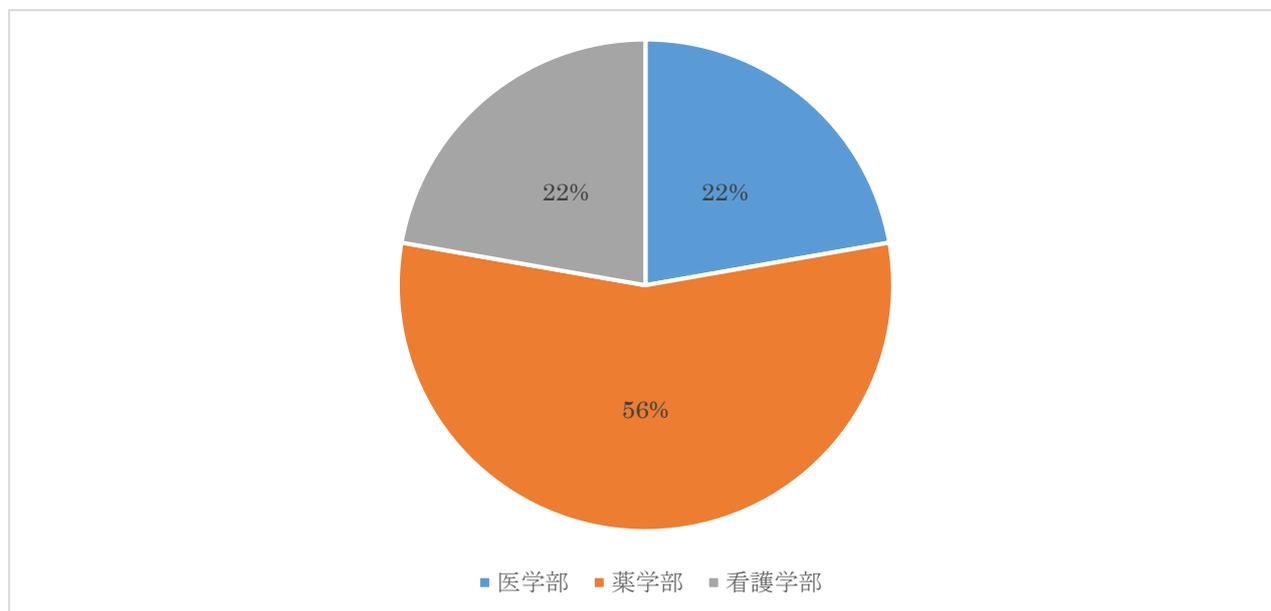
- ・ 医療人としての意識や価値観が変わった。
- ・ 違う学部仲間と交流できて、それぞれの学部の事情を共有できておもしろかった。
- ・ とても楽しくて有意義だったのでまたやりたい。
- ・ 来て良かったと思えるいい催しでした。
- ・ ちょっと音がうるさかった、けど、それ以上に楽しかった！
- ・ 他学部と関わる機会がとても珍しいので行くことができて良かった。
- ・ グループワークが苦手でいつも避けてきたけど、意外と楽しいことに気がつきました。
- ・ 他の医療分野の人とはこれから専門性が別れていくのでこれからが楽しみです。
- ・ 週1ほどで合同研修が欲しいです。
- ・ チームで医療を行うという自覚がより深まった。
- ・ 非常に有意義な時間を過ごすことができたので、このような行事は積極的に執り行うべきだと感じた。
- ・ とても楽しかったので続けていってほしいです。
- ・ 交流をこんなに深めることができると思ってなかったのがよかったです。
- ・ 医学部生だからと疎外感を感じるかと思っていたが、そんなことは全くなく楽しく協力できたので非常に良かったです。
- ・ すばらしいです。
- ・ 投票時間が長いと思いました。
- ・ 他職種連携の経験はかけがえのないものだと感じた。
- ・ 対面での合同授業とか増やしてほしい。
- ・ 3学部合同でするのは、珍しいのでいい取り組みだと思う(入学前の人の魅力でもあると思う)
- ・ 完全ランダムではなく、バランスの良いチームを選出してほしいと思います。
- ・ 楽しかった。是非対面でやるべき。
- ・ ポスター制作では意見を出し合い自分の考えが深まるいい機会になりました。
- ・ もっとこのチームで活動したいです。
- ・ ゲームとか遊びの方が仲が深まりやすいと思いました。途中でグループ替えとかも合った方が色々な人と話せていいと思います。
- ・ AEDの講習はとても良かった。
- ・ さまざまな意見に触れることができ、自分が目指している職業について真剣に考えられて良かった。
- ・ 今後後輩の人にも受けて欲しいし、私自身もとてもためになりました。これからもこのような機会があれば参加したいと強く思います。
- ・ 不手際を無くして欲しい。
- ・ 緊張しました。

- ・ 初めは面倒だなと思っていましたが、実際に経験すると他学部のたくさんの友達ができたり、医療人としての態度をより深く考えるキッカケとなり、良い経験だったと思います。
- ・ 他学部の人も仲良く活動できて、授業やキャンパスの様子を話し合ったのが楽しかったです。
- ・ 実際に対面でコミュニケーションを取り互いの役割を再認識出来たため、これからの授業を大切に良き医療人になろうと強く思った。
- ・ 段取り少し悪い。
- ・ とても楽しかったし良い経験になりました。また、ポスターの優秀賞を決めるなどのイベントもあり楽しかったです。
- ・ 自分では思いつかない視点の考えが多くて勉強になった。
- ・ 1年生だけじゃなくてももっと開催してほしいです。チーム医療の根幹を学べたしすごく楽しい良い機会でした。
- ・ 多角的に考えを知ることができて非常に学びの深い場になった。
- ・ グループワークでポスター書く時間を増やして欲しい。
- ・ 特に薬学部の人達はキャンパスが離れていて合う機会があまりないので一緒に話すことができて楽しかったです。
- ・ 臨床の現場の準備としてこのような機会があることで、より本番を意識してこれから行動していけるなと思いました。
- ・ 1日がとても早く感じるくらいチームで楽しく医療について考えることができました。また研修をすることがあれば、そのときも意見をみんなで出し合ってしっかりと考えたいと思います。
- ・ 全員ポスターのレイアウトを考えるのが難しく書くことに手こずってしまいましたが、グループの時間を長めにとってくれたので、たくさんの意見を出すことが出来たことが良かったなと思いました。医療人を目指しているだけあって、討論は白熱していたと感じます。
- ・ まだ知識が十分でない状態なのでもう一度専門知識や学習が進んでから行いたい。
- ・ 大学の団結力が増すと思う。
- ・ 学部によって意見が違っても、根底の考えは同じだということがわかった。
- ・ まだまだ知らない方も沢山いるので、グループをシャッフルしてまた開催して欲しいです。
- ・ 上位4チームに選ばれてとても嬉しかったです！初めは全然会話がなくて、どうなることかと思ったけど、最終的には上位に入ることができたし、みんなで仲良く終わる方ができたのでとても良かったです！
- ・ 今後の大学生活を送る上で習得しなければならない力を改めて考えることができた。
- ・ 次はもう少し人数を少なくしてやりたいかなと感じました。
- ・ 非常に有意義な時間だったけど私たちの班は欠員がいて少し残念だと思った。
- ・ 薬科のみの大学では経験することのできない時間を過ごすことが出来て、医科薬科に来て良かったと思います。
- ・ 勉強目的で集まっているけど、休み時間とかでの会話が楽しかったので、3学部での交流回数を増やしてほしいです。

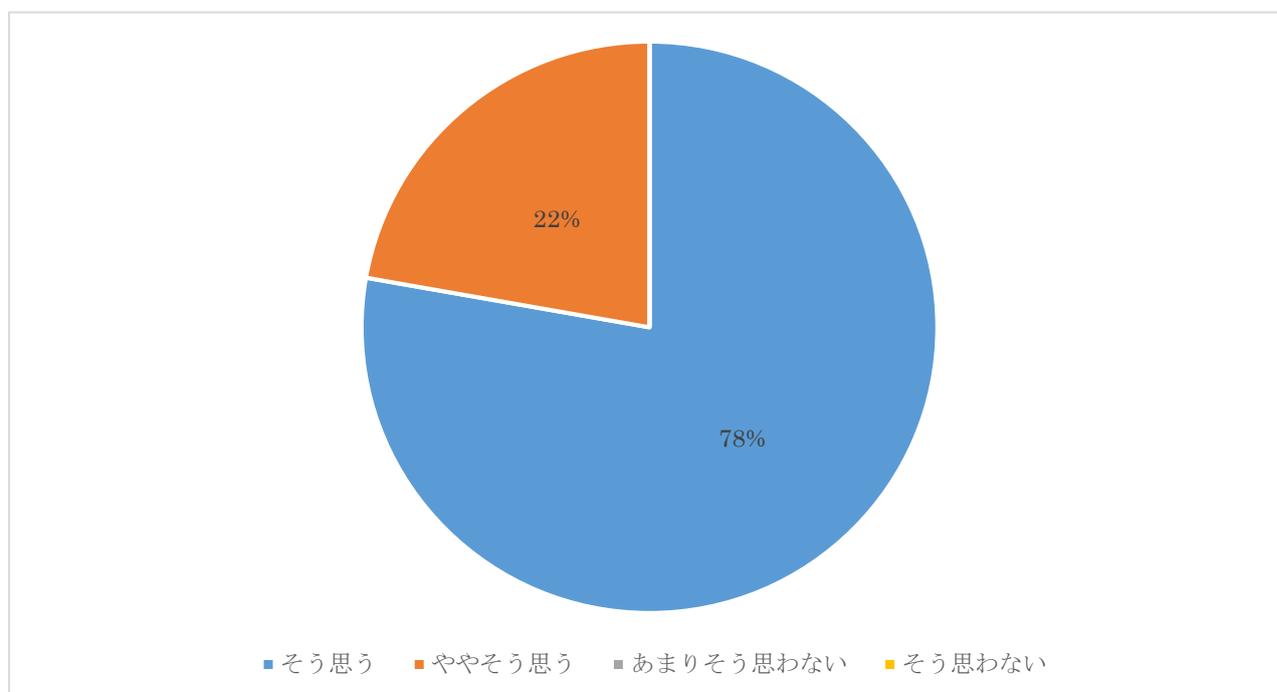
- ・ 医薬看の多職種連携が多くの生命を救うことを改めて実感した。
- ・ ちょうどいい時間配分でした。
- ・ 入学してコミュニティが固まってきた中、新しい知り合いが出来とても楽しかった。
- ・ めちゃくちゃ楽しかったし、良い医療人としての方法がよく分かったので、今日学んだことを意識し、日々努力を怠らないように頑張ります！オフラインのイベントどんどんお願いします！！
- ・ 入学して早々に研修と聞いて緊張していたけれど、みんな親切で楽しく有意義な時間を過ごせた。
- ・ 長いと思っていた合同研修があつという間に感じるほど価値ある時間でした。色々な経歴を持つ生徒と話すことができて楽しかったです。
- ・ 遠い。
- ・ ポスター作りの時間が思ったより短く、完成させるのが大変でした。休憩時間が多かったので、その時間を制作の時間に当てられたらと思いました。
- ・ 思っていたよりも楽しく充実した時間ができた。この大学に入学して良かった。
- ・ 初対面の方と話すことでコミュニケーション能力を身につけることが出来たので良かったです。
- ・ 入賞なくても班ごとにポスターと一緒に写真を撮るべき。
- ・ 医療は1人の力では決して成り立たないということを再確認出来たと思います。様々な考えや立場を学んだことでさらに自分の考えも深められ、とても有意義な時間でした。
- ・ 部活や行事など、薬学部と医、看護の交流ができる環境を増やしてほしい。例えば、学部を超えて入れる部活をもっと多くしてほしい。
- ・ 心肺蘇生の方法を対面で教わる事が出来て、それを実際に行えるために忘れないようにしたい。
- ・ すごく有意義な時間を過ごせました。110分の討論時間は妥当だと思っています。
- ・ 最初は自分の意見が言えるか不安だったけどみんな否定することなく共感してくれて安心して意見が言えて良かったです。
- ・ ポスターを通して、周りの人が考える良き医療人とはどんな人なのかを知り、共感することができた。
- ・ 違う人たちともチームを組んでもっと色々な人の意見を聞いてみたいと思った。
- ・ 景品が何か気になった。

## 14. 教員アンケート結果

(1) あなたの所属学部を教えてください。(選択)



(2-1) 学生にとって、卒業生・在学生の動画メッセージは、有意義だったと思いますか。(選択)

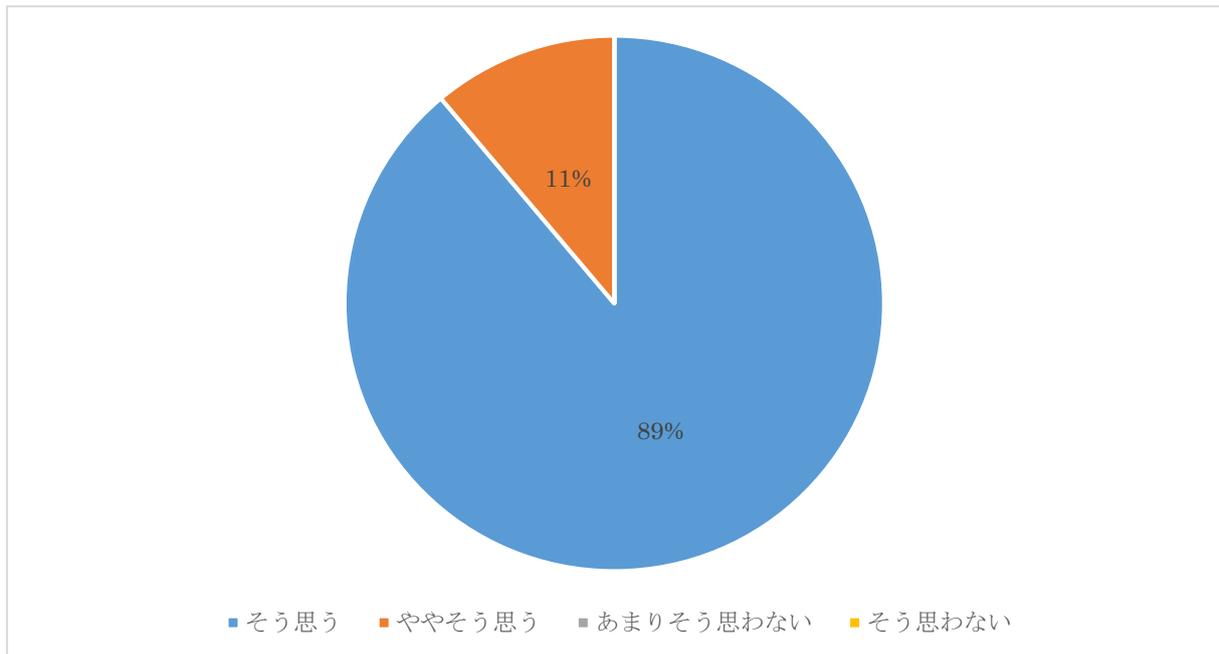


(2-2) (2-1) の回答について、それぞれを選んだ理由についてお聞かせください。

回答数：27（以下重複意見等は削除）

- ・ 良き医療人について、入学直後によく考えたことは、今後医療人として生きていく上での原点になると思います。
- ・ 同じ立場の人から話を聞けた方がひびく。
- ・ たくさんの情報があったから。
- ・ 有意義だった。
- ・ 学生生活のイメージを持ちやすく、それによって有意義にしていけると思われるから。
- ・ 具体的な学生生活が伝わってきました。
- ・ 新入生にとって先輩の話は身になるため。
- ・ これからの大学生活の目標が具体化したと思います。
- ・ 学生さんの感想を参考にしたいです。
- ・ 学生が興味を持って聴いている感じがしたから。
- ・ 大学生活や就職後のイメージがつくことで、目標設計や見通しを立てやすくなったと思う。
- ・ 学生が注目して見ていたから。
- ・ 実際の声は、新入生に届くと思います。
- ・ それぞれのプレゼン者の活躍している姿がアピールされていたので。

(3-1) 学生にとって、チーム別討議は、有意義だったと思いますか。(選択)

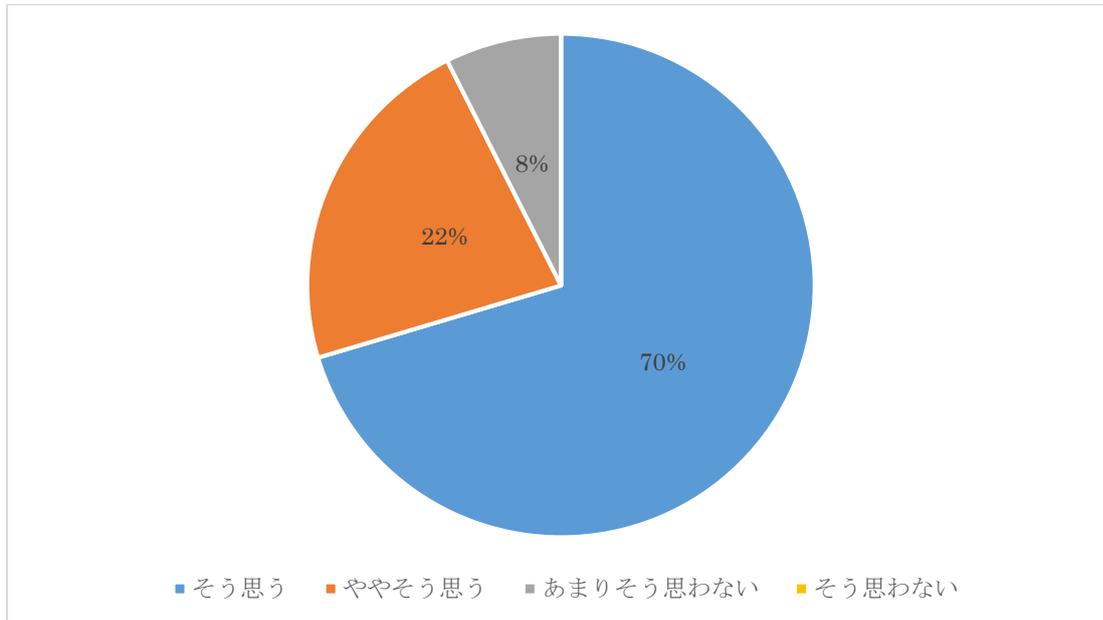


(3-2) (3-1) の回答について、それぞれを選んだ理由についてお聞かせください。

回答数:27 (以下重複意見等は削除)

- ・ 連携プレイができてよかったです。
- ・ コミュニケーションを学部を越えてとれたことは貴重だと思います。
- ・ 多職種チームの連携を実感できるため。また不安な大学生活に向けて、友達を作る機会になってよい。
- ・ 仲良く話し合えてたので交流を深めると言う意味でよかったと感じた。
- ・ コミュニケーションが苦手な学生も段々と溶け込んでいき、チームが成長していました。
- ・ ディスカッション能力の向上につながるため。
- ・ それぞれの自己分析が深まったと思います。
- ・ 取り組みとしては申し分ない。他にテーマがないかを模索したいですね。
- ・ シンプルに良い機会だったと思う。
- ・ 他学部との交流ができる貴重な機会となるから。
- ・ 他者の意見を聞いたりまとめたりすることや、入学直後のコミュニケーションをとれたことは良かったと思う。
- ・ 他の学生とも交流が持てればなお良かったと思いました。
- ・ 活発にディスカッションができていたから。
- ・ 初めて会った人と意見をまとめて、プロダクトを作る経験ができたから。
- ・ IPE の始まりというきっかけになったのでは。

(4-1) 学生にとって、講演（心肺蘇生）は有意義だったと思いますか。（選択）

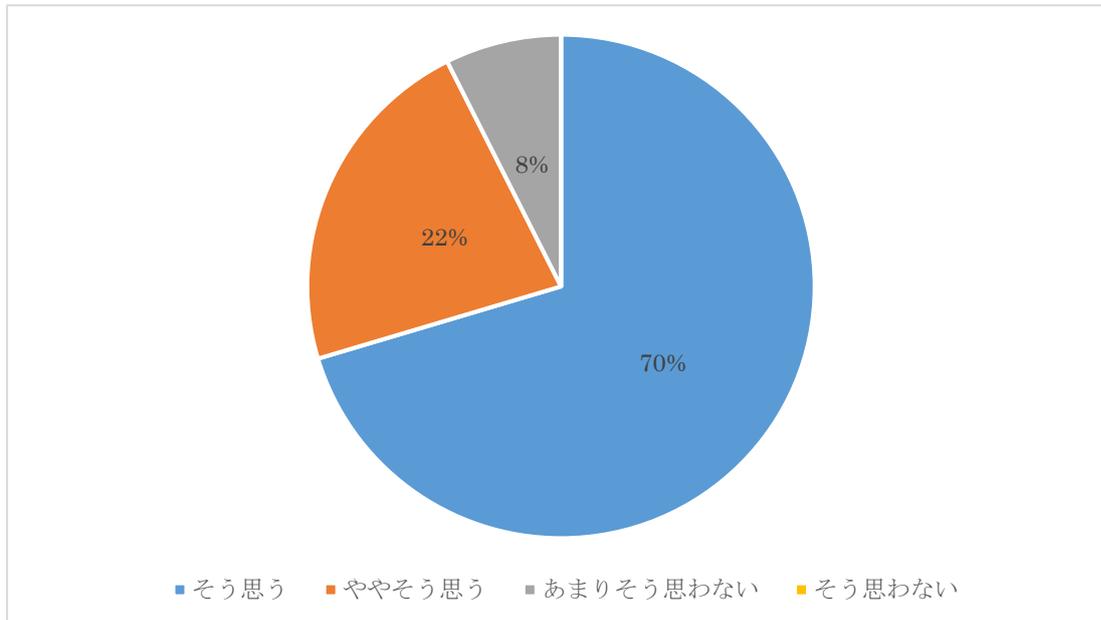


(4-2) (4-1) の回答について、それぞれを選んだ理由についてお聞かせください。

回答数：27（以下重複意見等は削除）

- ・ 医療人の基礎を学べた。
- ・ モデルでできるともっとよい。
- ・ 日常で役に立つと思われるから。
- ・ 医療従事者にとって必須の技術であるため。
- ・ 講演内容は動画などもありわかりやすかったと感じます。
- ・ 印象に深く残る内容でした。
- ・ 先生の実経験に基づく講演だったため。
- ・ 行動する自信がついたと思います。
- ・ 知識を充足することも必要。
- ・ 少し長いと感じた。
- ・ 心肺蘇生法自体は重要だが、あえて合同研修会でやる必要性を感じない。別日に各学部で実施してもいいのでは。そうすることで、今日の合同研修会を濃縮できるから。
- ・ 突発的に医療的補助が必要な場面は少なくないし、使用法だけではなく患者や周りへの関わり方についても学べる貴重な機会であったと思う。
- ・ 方法の検討が必要と感じました。
- ・ 少し段取りに問題。
- ・ 貴重な体験講義だから。
- ・ わかりにくい部分が多かったのでは？
- ・ 命について考える良い機会になったと思います。

(5-1) 学生にとって、実技（心肺蘇生）は有意義だったと思いますか。（選択）

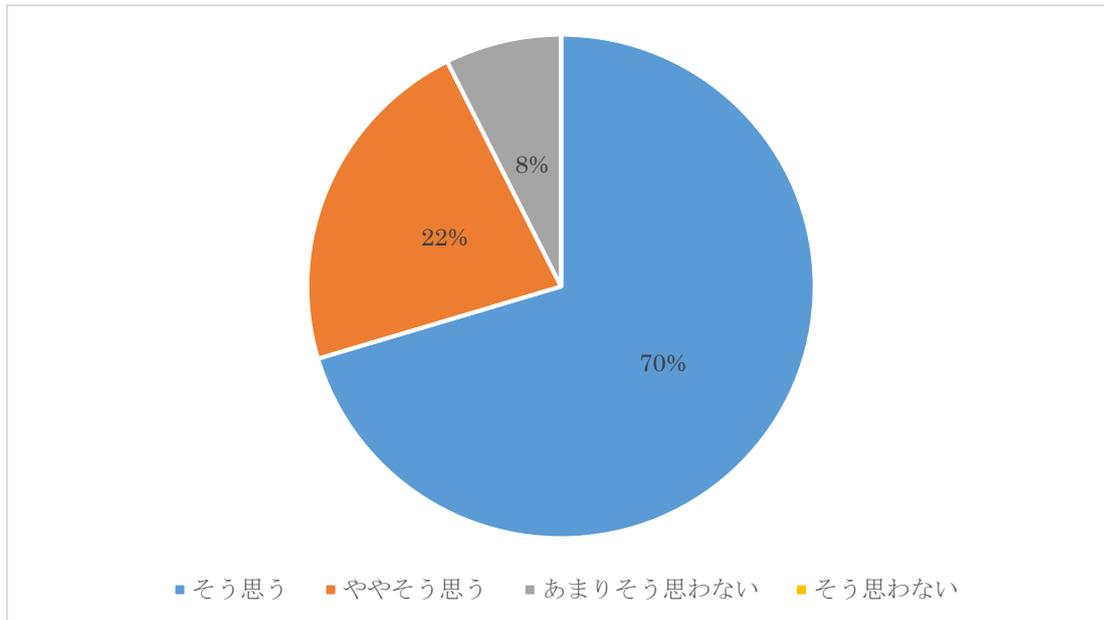


(5-2) (5-1) の回答について、それぞれを選んだ理由についてお聞かせください。

回答数：27（以下重複意見等は削除）

- ・ 心肺蘇生を身近に感じられたと思います。
- ・ 演習ができたから。
- ・ もう少しリアリティのある体験ができる方が医療系の学生には適切であると感じました。
- ・ 臨場感が欲しい。
- ・ 良い経験になったと思うため。
- ・ 緊急時の対応方法が身についたと思います。
- ・ 医療関係の学生はできた方がよい手技なので改めて履修できる機会となってよいと思う。
- ・ 体験型だから。
- ・ 方法の検討が必要と思います。
- ・ 実技があると記憶に残りやすいから。
- ・ 一生懸命に圧迫していた。
- ・ 初めての経験である人も多いと思います。
- ・ 実際に遭遇したとき、利用できる経験になったのではと思う。
- ・ 命を救うための行動を考える良い機会になったと思います。
- ・ 実際にそういう場に居合わせたときに積極的に動ける一助になったのでは？

(6-1) 学生は、良き医療人となるために必要なことが理解できたと思いますか。(選択)

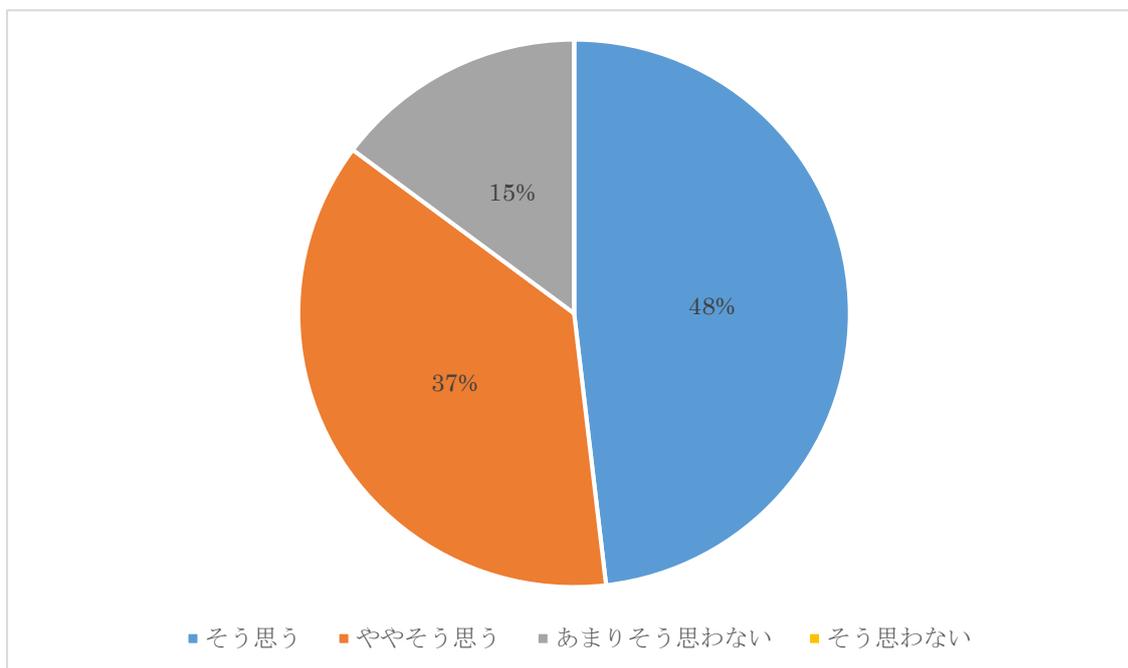


(6-2) (6-1) の回答について、それぞれを選んだ理由についてお聞かせください。

回答数：27（以下重複意見等は削除）

- ・ ポスター作成することにより、より具体的に考えられたように思う。
- ・ 一日通して他者の意見も聞きながら学べたと思う。
- ・ 内容としては非常にそう思うが、実感が伴うのは今後臨床現場に出てからと思うため。
- ・ それぞれに考えていることを意見として出し合い視覚化できていたと感じました。
- ・ 自分を振り返る時間になっていた。
- ・ 具体的なアクションプランがクリアになったと思います。
- ・ 今日一日では、難しいと思う。
- ・ ディスカッションでいろんな意見が得られた反面、それが本当に正しいかは不明だから。スモールグループディスカッションの限界。
- ・ 机上だけだから。
- ・ 大学で学ぶにあたり、いい志へつながる機会となったと思う。
- ・ 長時間、良き医療人について真剣に考えられたと思います。
- ・ 成果物の完成度が高いので。
- ・ 全体を通して良いプログラムと感じたため。
- ・ まだまだ実感には至らなかったのでは？

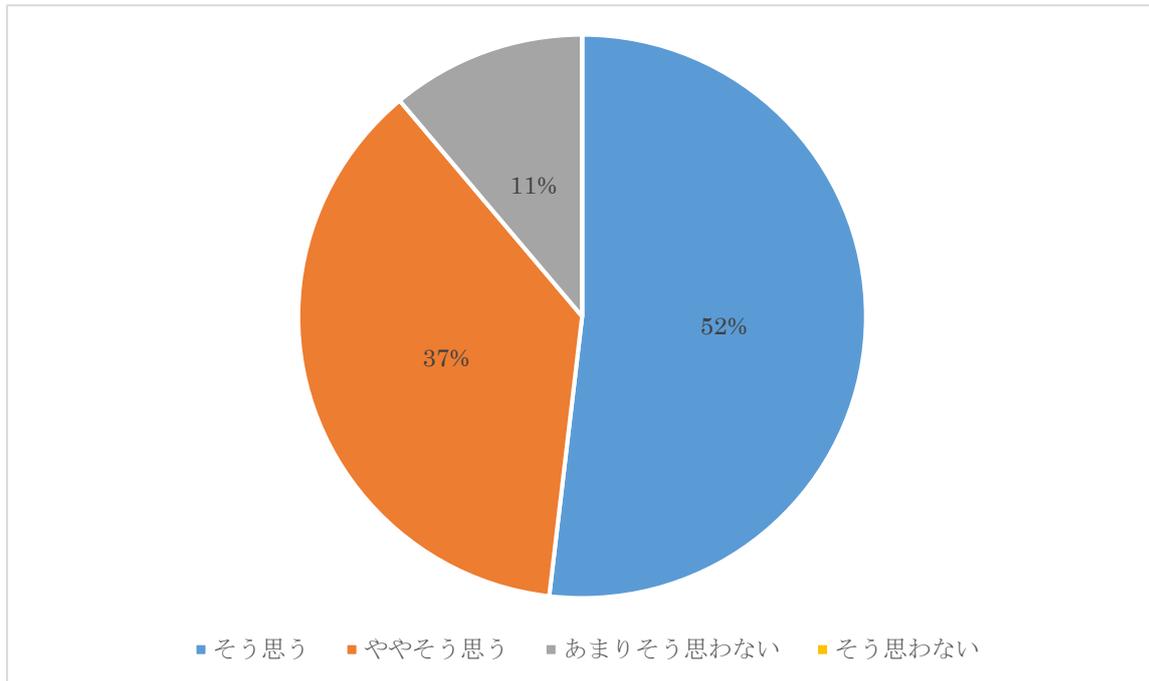
(7-1) 設問 7-1 学生が、自分自身のキャリアデザインを考えるうえで、今回の研修が役に立ったと思いますか。(選択)



(7-2) (7-1) の回答について、それぞれを選んだ理由についてお聞かせください。  
回答数：27 (以下重複意見等は削除)

- ・ よい機会となった。
- ・ まだ、不足している部分があると感じた。
- ・ 自ら考えることができたから。
- ・ 在学生や卒業生のメッセージが特にイメージがわきやすくてよかった。
- ・ 仲間作りには役立ったと感じます。
- ・ 内容がキャリアとはつながりにくい。
- ・ 具体的なイメージができたと思います。
- ・ 卒業まで期間があるから。
- ・ キャリアデザインを考えるうえでという面では難しいかもしれません。
- ・ 考える時間が沢山あったから。
- ・ きっかけとしては良かった。
- ・ 皆の顔を見たらそうなんだろうと思う。
- ・ 多くの情報はこれからだと思います。

(8-1) 学生は、多職種連携の重要性を理解することができたと思いますか。(選択)



(8-2) (8-1) の回答について、それぞれを選んだ理由についてお聞かせください。

回答数：27（以下重複意見等は削除）

- ・ 時間が短った思います。
- ・ よくコミュニケーションがとれていた。
- ・ よい機会となった。
- ・ 学部をこえて討論できたから。
- ・ 入門として良かった。
- ・ 時期が早いと思ったから。
- ・ 他職種連携の重要性を感じる内容ではなかったと思う。
- ・ 作業をする中で理解できたと思います。
- ・ 多職種連携についてはこれからですが、きっかけとして良かった。
- ・ 一つの目標に向けて協力することが実践できたから。
- ・ 討論の中でも他職種連携の重要性について考えていました。
- ・ テーマに沿って考える事で多くの事が学べたと思います。
- ・ ポスターから感じられる。
- ・ 今後の教育プログラムの継続性次第でしょう。

(9) 三学部合同で行ったことについての感想や、その他運営全般を含めてご意見があればお願いします。

回答数：27（以下重複意見等は削除）

- ・ 非常に良かったです。お疲れ様でした。
- ・ 今後も続けていきたいと思います。
- ・ 昼食時のチューターの控え室に関して、椅子とお弁当が足りなかった。
- ・ 今後も続いていけばいいと思う。高学年でも同様なものが必要。
- ・ まず初めに他職種との壁を作らないという意味で、大変有意義と思います。
- ・ 全体として学生さんは非常に真面目に参加されていた印象がありますが、より遊びの要素があれば楽しめる会になる気がしました。
- ・ とてもよかったので合同の授業やイベントを増やして欲しいです。
- ・ チューターの人数の割に仕事が少なかった。
- ・ 集合時間が早い割にあまりやることがないので9:30集合でもいいのではないかと。
- ・ ライフサポート協会のサポートスタッフが学生のポスターを写メで撮っていたのが気になりました。
- ・ 良かったと思います。学生が自主的に動くのでチューターはもう少し少なくても良いかと思いました。
- ・ コンピュータの不調が何度も見られたのが残念。
- ・ 他学部との交流で自身の職責を再確認できたと思います。
- ・ 継続して欲しい。
- ・ うまくデザインされていると思った。
- ・ 大変良いプログラムになっていると思います。
- ・ ポスターが裏側にもあることを周知する必要があると思います。